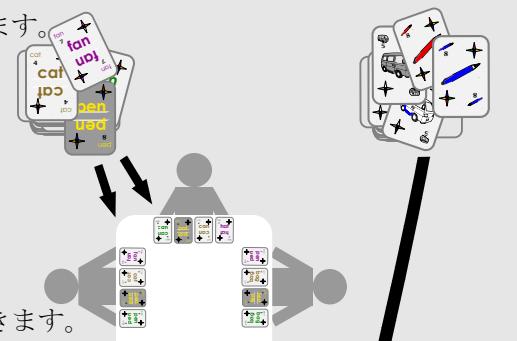
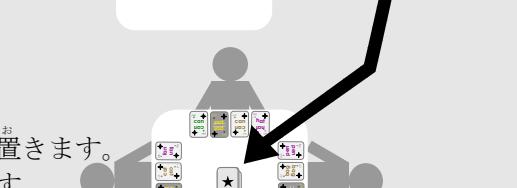


ボンゴ 5才以上 2-6人

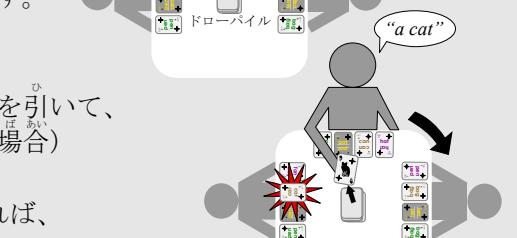
1. すべてのカードを2つのグループに分けます。
26枚の絵カード
26枚の文字カード
その2つのカードのグループの中から
1つ使いたいグループを選びます。



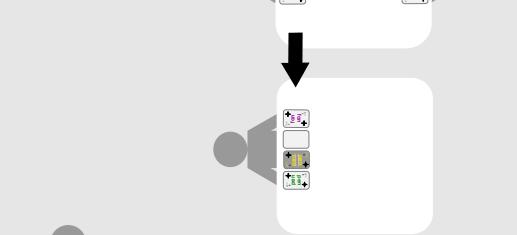
2. 選んだカードのグループから
それぞれのプレイヤーは好きな4枚を選んで、
テーブルに自分の前にその4枚を上向きに置きます。



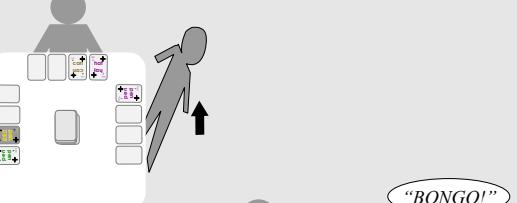
3. まだ使われてないもう1つのグループを
シャッフルして、テーブルの中心に下向きに置きます。
これはドローパイル(引き札の山)になります。



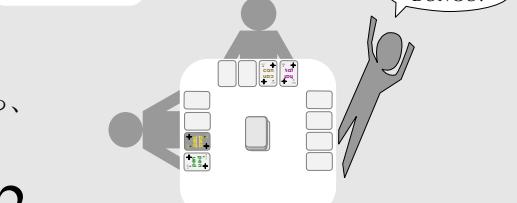
4. 1人のプレイヤーはドローパイルから1枚をひいて、
引いたカードの単語を言います(絵カードの場合)
または読みます(文字カードの場合)。
もしそのカードがプレイヤーの4枚の中にあれば、
そのプレイヤーが言われたカードを
下向きにひっくり返します。



5. 先のプレイヤーの左側の人(時計回り)
は同じように次のカードを引いて、
そのカードの単語を言います。



6. 1枚のカードしか残らない時は
そのプレイヤーが立ちます。



7. すべての4枚のカードがひっくり返したら、
その人は“ボンゴ”と言って、勝ちです。

I Don't Think So - 13才以上, 2-7 players

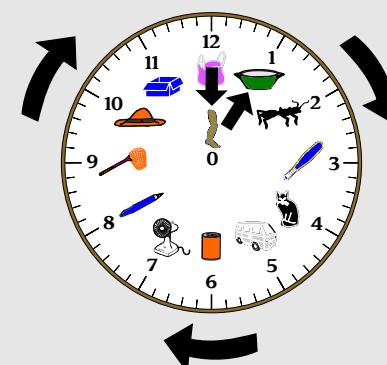
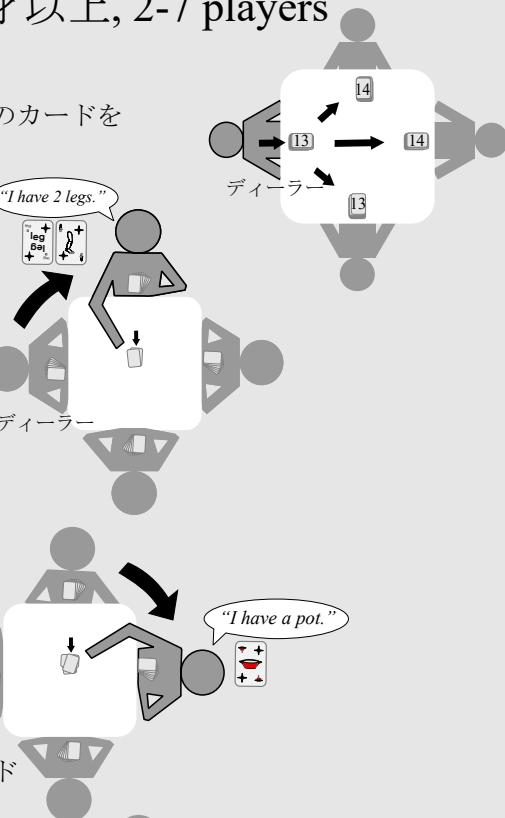
1. ディーラー(カードを配る人)はすべてのカードを
できるだけ平等に配ります。
 $54 \div (4\text{人}) = 13\text{または}14\text{枚}$



2. ディーラーの左側の人は
最初にプレイします。
そのプレイヤーが持っている
足のカード(0)をテーブル
の中心に下向きに置きます。
テーブルに置く時に
そのカードの物とその物
の数を言います。



3. 次のプレイヤー(時計回り)が持っている
鍋のカード(1)をテーブルの中心に前の
プレイヤーが置いたカードの上に,
下向きに置きます。そのカードの物と数
を言う。その後に次のプレイヤーが
蟻のカード(2)を置きます、同じの
ように鍋のカード(1)まで続きます。
そして鍋のカード(1)からまた足のカード
(0)に戻ってこのようにゲームが続けます。



もあるプレイヤーが必要なカードが持てなければ、少なくとも他のカード
の1枚を置かないといけません。そのカードを置く時に実際のカードの物じゃなくて、
その番のカードの物を言います。残りのプレイヤー達がそれは史実なのか、
嘘なのかを検討します。ポーカーフェイスは役に立ちます。